

大念佛

No.92

発行／融 通 念 佛 宗
総本山 大念佛寺
大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026

題字：融通念佛宗 管長 吉村暲英

令和四年の新春を迎え、檀信徒皆さま方のご清福とご健勝を寿ぎお慶び申し上げます。
今年こそはコロナ禍の不安がなくなり、元の平穏な日常を取り戻したいものです。
年頭にあたり、「一念精進」の語句を掲げさせていただきます。

一念懈怠すれば宝池の蓮
萎み、億百万遍功德損減す

これは宗祖良忍上人が、阿弥陀仏に対して自らの心を励まし、念仏修行の意気込みを述べられた次の語句に由来しています。

一念精進すれば宝池の蓮
開き、億百万遍功德成就す

一念とはきわめて短い時間を指すのが普通ですが、ここでは一遍の念仏という意味です。一回の称名（なむあみだぶつと一回称えること）でもすばらしい

功德がある。だからそれを大事にして念々に称名に励むなら、極楽浄土の蓮の花が開いて大きな幸せが成就するということです。一遍の念仏にも大いなる徳が含まれていることを喜び念仏を称えることが大事であるとの教えです。本宗では、「日課百遍」といって、毎日欠かすことなく

念仏を続けることの大切さが説かれています。一日百遍を一応の区切りとして、毎日これを欠かさず相続する。まさに精進とは続けることなのです。

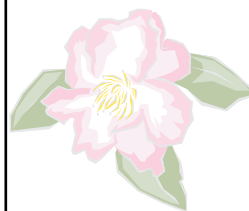
一念精進

大源山六十七世 暲英



新年随想「一念精進」

融通念佛宗管長 吉村 暲 英



お仏壇のおまつり

お仏壇とはお寺の本堂の奥、仏様をおまつりする内陣の部分。一般家庭向けに縮小して、仏具、法具などで御本尊やご先祖様などをおまつりできるようにした仏教の教えに触れる大切な場所です。

そもそもの内陣は仏様のおられる世界、本宗では天得阿弥陀如来を御本尊としますので、極楽浄土をあらわしているとされています。

また、さらに装飾や御供えの方法は、古代インドの風習から由来し、「大切な客人にたいし

て尊敬の念を込めておもてなしをする」という意味のインドの言葉「プージャー」が中国大陸で「供養」という言葉に訳され、宗教的な儀礼に取り入れられ洗練されて今日まで伝わってきました。

いうまでもなくお仏壇は単なる置物や家具ではありません。合掌して礼拝し、「南無阿弥陀仏」とお念仏を唱えることにより大事なご先祖様等の崇拜の場として日々生きてきます。

お仏壇・仏具の形状などは各ご家庭によって様々かと思いま

すが、

・花瓶（花立て）

・燭台（ローソク立て）

・香炉（線香立て）

・仏飯器（ご飯を盛る器）

・茶湯器（お茶湯を入れる器）

・高杯（菓子、果物等御供え物を盛る器）

などが必要になります。

最近は核家族が進み、お仏壇が日々の生活の中にないご家庭が増加し「仏壇のまつり方がわからない」と相談されること

がふえました。

御霊供膳について

御霊供膳とは仏壇に供える小型のお膳のことで、一汁三菜と白飯からなる精進料理です。

お正月・お彼岸・お盆・ご命日・お年忌等の特別な法事に心をこめて御供えいただけたらと思います。

下図のように器・蓋・具材・方向などをイラストであらわしましたので参考にしてください。

おまつりの一例

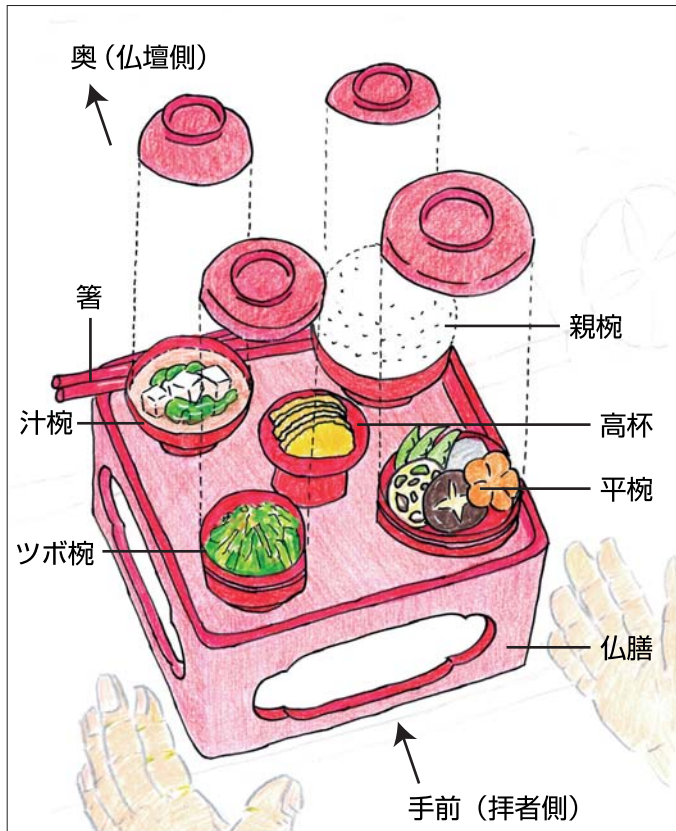


ここに紹介する仏壇のまつり方はあくまでも一例です。お仏壇の形状や色・仏具の種類は多種多様でございます。お給仕の利便性もあわせてご家庭の方法を尊重いたします。

- ① 御本尊〔十一尊天得阿弥陀如来〕
- ② 元祖〔聖應大師 良忍上人〕
- ③ 中祖〔法明上人〕
- ④ 位牌（いはい）
- ⑤ 過去帳（かこちょう）
- ⑥ 見台（けんだい）
- ⑦ 院玄灯籠（いんげんどうろう）
- ⑧ 仏飯器（ぶっぱんき）
- ⑨ 茶湯器（ちゃとうき）
- ⑩ 高杯（たかつき）
- ⑪ 上机（うわじょく）
- ⑫ 御霊供膳 大
- ⑬ 御霊供膳 小
- ⑭ 燭台（しょくだい）〔ローソク立て〕
- ⑮ 花瓶（けびょう）〔花立て〕
- ⑯ 香炉（こうろ）〔線香立て〕
- ⑰ 打敷（うちしき）〔織物の部分のみ下に垂らす〕
- ⑱ 経本（きょうほん）
- ⑲ 経机（きょうづくえ）
- ⑳ りん
- ㉑ 伏鉦（ふせがね）

- 親碗・・・ごはん
- 汁碗・・・味噌汁・お吸い物
- 平碗・・・煮込み物
- ツボ碗・・・あえ物
- 高杯・・・お漬物

※海、山、野、里の物を盛り込み、辛味類（ネギ、ニンニク、ニラ等）は避けてください。
地域によって色々なよび方（霊膳・御膳・おりようご）があります。



「まつばら よろしおあがり旅」に 参加出演



礼拝する際のお経

④ 摩訶般若波羅蜜多心經（お釈迦様の教えを要約した最も有名なお経）

⑤ 無常偈（煩惱から解放され、寂靜でありたいと願うお経）

⑥ 往生礼讃（阿弥陀如来や諸菩薩を礼拝する際のお経）

当日は、多数の来場者があり、融通聲明を真剣に心の奥でじつと聞いておられました。松原市観光協会の会長様から、来場された方の絶賛のお声をいただき、また、今回来られなかった方からも次の開催について問い合わせがあったそうです。

融通聲明研究会では、今後も、研鑽を深め、融通聲明を宗内外に広めていきたいと思っています。

尚、映像はYouTube 融通聲明研究会公式チャンネルでご覧になれます。

融通聲明研究会
妙楽寺 西尾 佳親

令和三年十月七日、大阪府松原市松原商工会議所大会議室において、松原市観光協会による地域活性化の一環として、歴史・文化・地域の魅力創出のプログラムの一つとして、「まつばらよろしおあがり旅」のオープニングとして融通聲明コンサートが執り行われました。

声明とは、仏の言葉である経文に、節・メロディをつけた仏教儀式・法要に使われてきた音楽です。元は、インドで仏を讃えるためにつくられたものが、その後中国に渡り、儀式の音楽として奈良時代に日本に伝わり、

受け継がれたとされています。仏を讃えるためにつくられた宗教音楽「声明」は、古くから、先人たちに「心の癒やし」「やすらぎ」を届けてきました。プログラムは、以下の通りです。

① 散華（紙で作った蓮の花びらを散らして場を浄め、仏を讃えるお経）

② 短声阿弥陀經（極樂世界の水鳥樹林の唱える妙音を現したお経）

③ 総礼伽陀（道場に十方三宝の降臨を願い至心に



令和三年大念佛寺コロナ禍の中に於ける法要

コロナが蔓延して以降三年目に入ろうとしています。昨年の五月の万部おねりをはじめ、それ以降の種々の本山法要につきまして、感染拡大予防のため、練供養を始めたとして、各奉納等本堂内イベント、境内の売店販売などの諸行事、参詣の方々のお参りを見合わせるなど、規模を縮小して執行して参りました。

ただ、七月の中祖忌法要では諸役及び大衆の方々には通常どおりに出仕して頂いての法要厳修を得ましたし、また十一月三日の胎内佛法要に付きましても菩薩役をはじめとする関係諸役の出仕のもと、施主の皆さんには人数制限を行いいつも参詣のご案内をして法要中において焼香をして頂くことができました。

本年の御回在は、状況が許せば出来るかぎり、令和二年作成の「御回在リーフレット」、令和三年作成の「疫病退散祈禱札」などを活用して、なんとか本来の御回在の姿を取り戻して通常の実施に至ることができればと願っています。

令和三年十二月七日「東京布教」の実施について

令和二年三月に予定しておりました薬師寺東京別院での「融通念

声明コンサートを鑑賞して

コロナ禍での開催にあたり人数制限を設けておりましたが満員でした。私は、観客席で見せてもらっていましたので開演前には、ざわざわと「融通念佛宗って平野の万部やんな」、「昔、よくいった

佛宗東京布教」につきまして、コロナ禍のもと順延に順延を重ねましたが、この度ようやく実施の運びとなりました。以下の出仕者と次第のもと開催致しました。

▽出仕者

吉村 暉英 管長 猥下、田中 瑞修 宗務 総長、教 学 部 長 ほか 計 八 名

▽次 第

午後二時開始・宗務総長挨拶
入 堂 ・ 御 本 尊 ご 開 帳
融通念佛宗在家勤行式
管長猥下導師・御親教
御本尊ご開帳・お頂戴・退堂
お守り等物品販売と御朱印の受付
（午後三時三十分終了）

東京布教に関連して 「浅草寺と融通念佛宗弘通光徳寺」 （「浅草寺日記」）

江戸（関東）における寺院（道場）の開設は、大通上人の念願の「果たすべきお仕事」であったといわれています。現在この願いは途絶えてしまつて以降、いまだ叶えられていませんが、念願成就の目標に向けて、このたびの東京布教の取り組みを進めさせて頂きました。

「融通念佛宗本山大念仏寺の江戸での弘通所であった光徳寺」という文言で、「光徳寺」という名

なあ」など本山行事の会話が聞こえてきました。

定刻になり講師が入場してくると静かになり声明が始まりました。短い子音に長く伸びる母音が会場内に響き渡りました。心地よい声明に皆さんが真剣に聞いていました。声明はCDも出ていますが、やはり生で聴いていただくのがよ



「場所が吾妻橋を渡った北本所中野郷原庭町にあり、天文五年（五三六）の起立、世々浅草寺の末寺としてゐる。江戸は百万都市であり、地方に本拠を持つ寺社はご開帳などによって信者獲得に努めていたが、融通念佛宗のように江戸市中に勧進場である宿院を設定できれば、安定的に信者を拡大し講に組織化することができたのである。

天保十二年（一八四一）、家齊の死去とともに始まる天保の改革の中で、弘通所光徳寺の浅草寺への返却という結果になった。」（以上、行昭一郎氏紹介の（『浅草寺日記』関係資料を抜粋）

いかと思います。興味のある方はぜひお寺に足を運んでいただき、聴いていただきたいです。

四十分の短い時間でしたが、未曾有のコロナ禍で日常を忘れ、心癒される時間を過ごせたことに幸せを感じました。

西方寺 安岡 良剛

末寺巡礼

八尾 垣内

不断山 善光寺

河内西国第十三番霊場

八尾市垣内四一四一

お寺に足を運びますと、まず大きな楠が目に入ります。本堂縁側からの眺めは素晴らしく、ハルカスなど大阪市内の景色や六甲山が一望できます。

垣内善光寺の開基は、信濃の善光寺の開基でもある本田善光に由来します。

百済の聖明王から伝えられたという阿弥陀如来像が、飛鳥時代に、物部氏によって難波、堀江の池に打ち捨てられます。その後、聖徳太子が、このお仏像を救いに行きますが、お仏像が池から出てこられ、「この後、縁のある人間が来るから、その時までこの池の中で待っている」と告げられ、また池の中に入られたということです。

聖徳太子が亡くなられて、信濃から、本田善光が四天王寺におまいりに行きます。帰りに、その地を通った際、阿弥陀如来像が、水中から出現し、背に乗ったと伝わっています。

お仏像のお告げにより「信濃に帰り、地元の方を救うように」と、本田善光は信濃に帰国しお寺を建立することになります。その帰路の初めの日に、現在の八尾、垣内にて一晩の滞在をしますが、近隣の人々が集まってお



こもりをしますと、その翌朝、このお仏像は二体に分かれておられたということです。

信濃に善光寺を開いた翌年、本田善光は再び八尾、垣内を訪れ、その分身のお仏像をおまつりし、垣内の地に善光寺を開きました。大化元年(六四五)と伝わっています。

ご本尊は、金銅仏、鑄造で、高さは一メートルぐらいい、光背を入れると約一六〇センチメートル。秘仏ですが、年に二回、御開帳を行っています。

また、本堂には大小さまざまな提灯が下がり、明治、大正のころに、各地から色々な講がお参りに来られた、その時の様子を残しています。

境内には、高さ二五メートルにもなるという、大きな楠が生えています。本田善光がこの地を訪れた際に「この地に縁があるならば



芽が出るように、そうでなければ枯れるように」と地面に突き刺した楠の杖から芽がでて育ったものといわれ、およそ樹齢一四〇〇年と伝わっています。大阪府の天然記念物、八尾市の保全樹木に指定されています。

大念佛寺年中行事(月々七月)について

「新型コロナウイルス」感染拡大の状況を鑑み、諸行事に関して山内限りの法要、または中止とさせていただきます。つきましては、「大念佛寺ホームページ」にて随時公表いたしますので、お手数をおかけいたしますが、ご確認いただきますようお願い致します。ご不明な折は下記のお問い合わせまでご連絡ください。

H1法話グランプリ2021

令和三年十月三十日、奈良市にある「なら一〇〇年会館」においてH1法話グランプリ(以下H1)という大会に出させて頂きました。H1は宗派を越えた僧侶が仏様の教えを説く「法話」で「もう一度会いたいお坊さん」ナンバーワンを選ぶイベントです。全国から宗派を越えて集まった僧侶たちが、グランプリのために磨き上げた「法話」を一同に披露します。

六月に予選があり応募した僧侶の中から八名だけが十月の本選に進む、狭き門です。最初は敬遠するつもりでしたが年齢制限が四十五歳以下という条件を見て最初で最後の挑戦となると思い、思い切って応募いたしました。

昔ある方が法話というのは心に水をやることだ、その水が深く心に染み入っていく様なお話しをするのが布教師だと教えて下さいました。ところが、あまのじゃくな私はその言葉に深くうなずくことができなかったのです。現代日本を見渡しても、忙しさに我を忘れて働き続けるサラリーマンや共働き世代の心には、法話が染み入る土壌が感じられなかったのです。それどころか、心がアスファルトで覆われているような気がしていました。まずは、この心のアスファルトを割ることが先決の様に思えます。その上で、従来の染み入るようなお話しが必要となると思うのです。

そう思っていた矢先でのH1です。法話に投票するイベントには賛否もあつたようですが、法話の敷居を大きく下げたことは間違いありません。この様な機会に宗派を越え参集した僧侶のお話しが、会場や配信を通して現代人の心のアスファルトを見事に割った事と思います。この小さな変化が明日の大きな変化に繋がることを夢見て。



大念寺(寝屋川市)副住職 関本和弘

話せば心も軽くなる 大阪仏教テレホン相談室

仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶がお受けします。月曜日(金曜日(八月休)) 〇六(六二四五) 五二一〇 午後二時~五時迄

年中行事ご案内

修正会

〇一月一日(土・祝) ■午前五時
国家安泰・五穀豊穡・万民豊樂を祈願して法要が修されます。

融通念仏会

〇一月十六日(日) ■午前十二時
ご一緒にお念仏を称えましょう。

百万遍会(大数珠くり)

〇二月三日(木) ■午後一時
外陣いっぱい張りめぐらされた数珠を、お念仏の声もろともに繰ります。身体堅固のお加持が受けられます。

寒行

〇二月三日(木) ■午前九時三十分
本山僧侶が平野の町を鉦を打ち鳴らしながら托鉢します。

毘沙門天護摩供養

〇二月三日(木) ■午前十時
■午後二時

大般若転読

元祖忌法要

〇二月二十六日(土) ■午後一時

河内御回在御出光

〇三月三日(木) ■午前七時

再興忌法要

〇三月五日(土) ■午後一時

写経奉納供養・筆供養

〇三月三十日(木) ■午後一時三十分

万部法要

〇五月一日(日)~五日(木・祝)

融通念仏会

〇五月十六日(月) ■午前十一時

百万遍会(大数珠くり)

〇五月二十二日(日) ■午後一時

東照大権現忌

「新型コロナウイルス感染症」の一刻も早い終息と皆様の暮らしが平穏へ向かうよう総本山より祈りを捧げます。

融通念佛宗 総本山 大念佛寺

河内御回在御帰院
〇五月二十九日(日) ■午後三時頃

保管霊骨追善法要

〇六月十一日(土)、十二日(日) ■午後二時

中祖忌法要

〇七月七日(木) ■午後一時

鳥羽上皇忌

〇七月二十日(水)

大念佛寺仏教講座

〇毎月第二水曜日 ■午後二時~四時三十分

定例布教(日曜日の時は二十七日) 〇毎月二十六日 ■午後一時三十分

★写経のご案内

毎月二十六日、午前九時三十分より午後三時まで、白雲閣にて写経(一巻千円)を行っております。

★納骨のご案内

午前九時三十分より午後四時まで年中無休で宗派は問わず納骨を受け付けています。尚、納骨の際は、事前にお問い合わせ下さい。

●日程については、変更になる時もございます。

●お問い合わせ

大念佛寺宗務所

〇六(六二四五) 五二一〇

謹賀新年

法主 吉村 暉英
管長 田中 瑞修
宗務総長 吉井 良久
教学部長 好野 良博
庶務部長 佐々木 智祥
財務部長